

科目区分	専門分野	授業科目	看護研究演習
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	3年次 第1学期～2学期
授業概要 *講師からのメッセージ	<p>看護研究は看護の質の向上や新たな看護を創造するために取り組んでいきます。まずはその基礎を勉強していきましょう。</p> <p>ケーススタディ作成に向けては、計画的に担当教員より指導を受けましょう</p>		
<p>目的：事例研究を通して、実践した看護を振り返る。</p> <p>目標：1. 実習で受け持った患者1例をケーススタディとしてまとめる。</p> <p>2. まとめたケースを発表できる。</p>			
回	授 業 内 容	授 業 方 法	
1	1. 看護理論とは 1) 理論の構成要素(前提、概念、命題) 2. ナイチンゲールの看護理論の概要 3. ナイチンゲールの看護実践への応用	講義	
2	4. ヘンダーソンの理論「人間のニーズに根差した基本的看護」の概要 5. ヘンダーソンの看護実践への応用	講義	
3	6. ウィーデンバックの理論「患者の援助へのニーズを満たす」の概要 7. ウィーデンバックの看護実践への応用	講義	
4	8. トラベルビーの理論「人間対人間の看護」の概要 9. トラベルビーの看護実践への応用	講義	
5	10. ペプロウの理論「看護師-患者関係」の概要 11. ペプロウの看護実践への応用	講義	
6	12. オレムのセルフケア理論の概要 13. セルフケア理論の看護実践への応用	講義	
7	14. ロイの適応理論の概要 15. 適応理論の看護実践への応用	講義	
8(45分)	試験(1回から7回まで)		
1	ケーススタディのすすめ方についてガイダンス 1) ケーススタディの意義・目的 2) 研究テーマと研究動機 3) 論文作成に向けてのスケジュール	講義	
2	研究計画書の作成	講義	
3	研究報告書(論文)の作成に向けて	講義	
4	各担当教員による個別指導(論文提出まで継続)	個別指導	
4	研究論報告書(論文)の作成の実際	演習	
5	発表及び発表会の運営 1) 発表者及び聴講者のあり方 2) 発表会の運営	講義	
6～8	口頭発表会 1) ケーススタディの発表 2) 質疑応答の実施、講評の実施 3) 発表会運営の実施	発表	
評価方法	筆記試験(50点) 論文作成から発表まで(50点) 評価基準参照		
テキスト	照林社：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 メジカルフレンド社：看護実践に活かす中範囲理論		
参考図書	学習研究社：超入門事例で学ぶ看護理論		
備考	関連科目：看護研究論 基礎看護学概論		